

留学だより vol.1

こんにちは！イタリアに留学中の16期渡邊です。私の留学生活について書いていこうと思います。

以下の内容で書きます。

1. イタリアまでの道のり
2. 日常生活について
3. ホストスクールについて

1. イタリアまでの道のり

同じ部活の友達と家族に見送られ、9/5の深夜便で羽田からフィンランド・ヘルシンキに移動しました。ヘルシンキからローマに向かう便にトランジットする予定だったのですが、トラブルが発生し、ヘルシンキで一晩を過ごすかと思うほど絶望しました。羽田での集合時にはボランティアの大人が付き添ってくれるのですが、機内やトランジットは日本人留学生30人のみで行動しなければならないため、それもまた初体験でしたが、みんなで協力してなんとかローマに着きました。



突然ですがみなさんは私の留学エージェント AFS についてご存じですか？世界 60 カ国に支部を持つ異文化交流コミュニティです。またホストファミリーや支部の学生ボランティア・役員さんは全員無償で交換留学をする高校生たちをサポートしてくれています。ローマについて私たちは現地イタリアのボランティアに温かく出迎えられてオリエンテーション会場に向かいました。空港にいる時点で 50 人には ciao! とあいさつを交わしました。皆笑顔で挨拶してくれるので魔法の言葉みたいですね。

会場には約 400 人の留学生がおり、すでに留学が始まっている実感が湧いてすごくワクワクしました。出身国は違えど、皆とてもフレンドリーで、交流したり、相手の国のあいさつを教えてもらったりするのが楽しかったです。特にタイ人の女の子とトルコ人の子が発音を誉めてくれました！この調子でイタリア語も頑張れたらいいなと思っています。

1日のキャンプを終え、同じ都市に向かう 4 人の学生と一緒に、2時間ほどバスに乗りました。香港から来た子に少しだけ中国語を披露できて仲良くなれたので、第二外国語の授業を履修していて良かったと思いました。

合計約 18 時間の長旅を超えて、ついにホストファミリーと会いました。事前に写真で見ていた通り、笑顔の素敵な優しい方々でした。ホストシスターはあまりたくさん喋る方ではありませんが心優しく、感謝の言葉を言うと優しくハグをしてくれる愛らしい方です。ホストマザーはかなり早口のイタリア語で話しかけてきますが、私がイタリア語で失敗したりゆっくり喋ったりしても笑顔で見守ってくれます。ホストマザーはよく”piano piano”と言うのですが、これは「ゆっくり行こう」「落ち着いて」などの意味があります。この言葉を聞くたびに安心してイタリア語を喋れるので心の中で自分に言い聞かせています。ホストファザーはとてもお喋りで、英語でもイタリア語でも色々なことを私に説明したり質問したりします。日本語にたくさん興味があり、「これって日本語でなんて言うの?」「日本でこういう文化ってある?」などよく聞いてくれて嬉しいです。



2. 日常生活について

日本はまだまだ暑い日が続くと思われませんが、イタリアは不思議な気候が続いています。朝は真冬と同じくらい寒いのですが、お昼になるにかけて日が出てきて暑くなってきます。学校は私服なのですが、大体みんなパーカーの下にTシャツを着て学校に来て、お昼になる頃にはパーカーを脱いでいます。日が落ちる時間帯はそこまで大差ないですが、一番異なるのは乾燥具合です。こちらは、暑さは真夏並みなのに冬のように乾燥します。そろそろ冬服を買わないといけないな〜と思いますね。これからどんな感じで寒くなっていくのかも少し楽しみです。

ご飯を食べる時間も少し異なります。イタリアは全体的に行動がゆっくりめです。食事にかける時間が長いのに加えて始まる時間も遅いので結構ゆったりしている印象です。晩御飯が一番日本と異なり、20:00 ごろから食べ始めます。心なしか日本より私にあっていく感じがします。ご飯に長く時間をかけるのはイタリア人がお喋りだからだと言われていたらしいです。確かにそんな気もします。

イタリア語について言えば、アクセントや発音がやっぱり難しいです。出国する前の学習のおかげで、会話に必要なある程度の単語は聞き取れるのですが、自分の口から話そうとするとやっぱりネイティブの発音と違うのが気になって悔しいです...でも自分の周りのイタリア人たちが、私が喋るイタリア語を聞き取ろうとしてくれたり、上手く喋れた時に褒めてくれたりするのが本当に私にとって嬉しくて、喋れないことに落ち込むこともあります。その度に周りの友達やホストファミリーに元気づけられています。

私の地域だけかもしれないですが、動物（ペット）が多い印象です。その影響か、ショッピングモールや洋服屋にもよく犬猫がいます。ルールが日本より緩いと思われるのですが、個人的にすごくいい文化だなと思いました。

平日は8時から13時までしか学校がないのでその後はホストファミリーと過ごします。イタリアに来る前も知っていましたが、家族愛が強いのが伝わってきますね！

料理したり、お買い物をしたり、夜にパーティーに出かけたりします。イタリアには晩御飯の後も友達と過ごすのが当たり前のようで、最初の数日は結構眠かったのですが慣れてきました。毎日結構盛り沢山なのでまだ二週間しかイタリアにいないのが信じられません。

イタリアに来てからほぼ毎日料理をするようになったのですが、私は火を使うことはもっぱらできないので、とにかく切ることのみに特化して頑張っています。またイタリアに来てから、あまりお肉を食べなくなって（若干ホストファミリーがビーガンとかお肉をすすんで食べる方ではないので）逆に食べられる野菜が増えてきました。最近だと、さやえんどうとズッキーニをよく食べています。味付けがシンプルなのに、イタリアで食べるとなぜか日本より美味しく感じます。なぜでしょうか。理由は分かりません。



3. ホストスクールについて

私のホストスクールはかなり大きい学校で、学校の駐車場がとても大きく、いくたび驚きます。イタリアの治安が日本より悪いからだと思うのですが、みんな放課後は両親が車で迎えにきます。学校には車で20分ほどかけていき、学校が始まる時間自体は日本より少し早いです。でも授業の最初は先生がお喋りしているので皆少し遅れてきます。校則はほとんどなく、スマートフォンを授業中に集める先生もたまにいますが、そういう先生はあまり生徒から好かれていない印象です。

私のクラスは南米から来た人がほとんどで、スペイン語とイタリア語を話しています。クラスに20人ほどしかおらず、去年から同じクラスなので仲がいい感じがします。クラスに日本のアニメが大好きな子がいて、よく日本語を披露してくれます。

私は化学・地理・イタリア語・スペイン語・英語・数学・公民・生物・宗教・体育などたくさんの授業を履修しています。数学や理科系、英語の授業はわかるのですが、イタリア語の授業は日本で言う古文みたいな授業なので、イタリア人の皆も難しそうで、私にとってはちんぷんかんぷんです。でも素敵な友達に恵まれたおかげでとても楽しいです。

一昨日は学校の途中で映画を見に行く授業があつて、学年一帯で映画館に行きました。個人的に驚いたのは映画中にみんながずっと喋っていてうるさかったことです。特に映画の終盤になるとみんな口笛を吹いたり、拍手をし始めたりします。イタリア全体がこのような雰囲気なのかは知りませんが、面白かったです。

あと学校に購買があるのがすごく変な感じです。沢山の生徒がパンを買いに走る姿が、なんだか日本っぽいけど、小石川では見たことのない景色で、不思議な感じで面白いです。購買があるカフェテリアは朝早くから開いているので、朝早く登校してしまって、外で待つ寒い日は友達とカフェテリアに行きます。

私が面白いと思ったのは、電子黒板が日本よりずっとずっと発達しているというか浸透しているな～と思いました。生徒たちも使い方をマスターしているし、一応ホワイトボードはありますが、あまり使いません。数学の時間は、先生が問題を口頭で伝えて、生徒がそれを電子黒板に移して解くというスタイルでやっています。数学の先生以外にも、授業中にずっと座って喋り続ける先生は多いです。あと先生全員に共通することは声が大きいです。怒っている時とそうでない時の差がわかりません。

初回の留学だよりはこんな感じで終わりたいと思います。暖かい友達とホストファミリーに支えられて、元気に過ごしています。次回の留学だよりは、面白い内容を書けるように頑張ります。季節の変わり目なので体調に気をつけて過ごしましょう。

16期 渡邊